

放射性物質

# 県産桃 検出されず

## 4J A分、生産者は安堵

山梨県は1日、県内4J A管内で生産された桃の放射性物質検査をした結果、食品衛生法で暫定基準値が示されている放射性物質は、いずれの桃からも検出されなかったと

発表した。県産桃の安全性が証明された結果に、生産者は胸をなで下ろした。

横浜市内の厚生労働省施設で同日、南アルプス、山梨、笛吹、葦崎の4市内で栽培されたわせ品種の「日川白鳳」を検査。県農業技術課によると、いずれの桃も放射性セシウム、放射性ヨウ素は不検出だった。

検査結果を受け、横内正明知事は「安心して大いに食べていただけることが証明された。さまざまな機会を通じ、消費者に安全・安心をPRする。

### 放射線量は通常値

甲府

山梨県大気水質保全課によると、県衛生環境研究所（甲府市）で1日に測定した地上1メートルの放射線量は毎時0.051マイクロシーベルトだった。同研究所のモニタリングポスト（地上17メートル）で先月30日

る」とコメント。J Aこま野（南アルプス市）の小池通義組合長は「負のイメージがつかず安心した」と述べた。

南アルプス市桃園の果樹農家野田利貴さん（62）は「心配だったが、不検出で安心した」とほっとした様子。山梨市七日市場の秋山正仁さん（29）も「風評の影響で市場単価が下がっていると聞いていたので、安全性が確認されて良かった」と話した。

農水産物の放射性物質検査をめぐっては、政府が山梨など3県を検査計画策定対象エリアに追加。県は検査計画の策定に先行し、出荷が既に始まっている桃の検査を実施した。今後はJ Aや市町村などと協議しながら検査計画を策定し、本格的な検査を始める。

午後6時～1日午後5時に計測した大気の放射線量は、最大で毎時0.045マイクロシーベルトと過去の通常値の範囲内だった。甲府市で先月30日に採取した水道水、1日午前9時までの24時間に採取した雨やちりなどの降下物から、放射性ヨウ素と放射性セシウムは検出されなかった。

山梨日日新聞

2011年（平成23年）7月2日 土曜日